

安全上の注意
● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることを生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
絵表示の例
● 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近例に具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

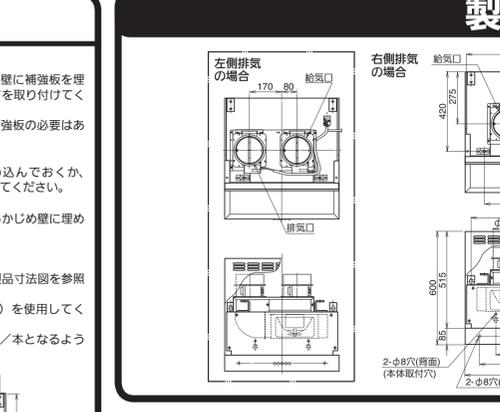
警告
● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● アースを確実に取り付けること
● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造骨物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付け
● レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッパ網など）と接触しないよう取り付け
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッパ網など）と接触しないよう取り付け
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと

注意
● 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が40℃以上になるとは取り付けないこと
● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 自然排気型のストープを使用するときは、自然排気型ストープ（給気口）により十分給気される配慮をすること
● アースを確実に取り付けること
● 故障や漏電のときに感電するおそれがあります
● アースの取り付けは販売店にご相談ください

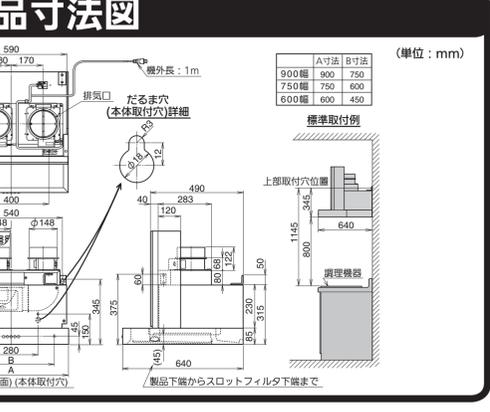
注意
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が40℃以上になるとは取り付けないこと
● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 自然排気型のストープを使用するときは、自然排気型ストープ（給気口）により十分給気される配慮をすること
● アースを確実に取り付けること
● 故障や漏電のときに感電するおそれがあります
● アースの取り付けは販売店にご相談ください

取り付け上のお願い
● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
● 大工工事（設置のための下地工事等）
● 配線工事（コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等）
● 電気工事（ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等）
● 流湯業者（販売店）を通じて組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
● ダクトの不燃処理について
● 調整機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
● 屋外壁面の排気口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m<sup>2</sup>/h時50Pa以下のものをご使用ください。
● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいぢるく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
● レンジフード取付面の補強部に、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。
● 製品は調理機器の真上に取り付けてください。
● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取付けないでください。
● 製品仕様を改造してのご使用は絶対にやめください。
● 部屋の中で料理される場合は油煙が捕集されませんので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただく場合は、よりすぐれた換気ができます。
● 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm<sup>3</sup>程度の空気取入口を設けてください。
● 寒い地域ではダクトが結露し本体内部に結露水が流れる場合がありますので、排気ダクト・給気ダクトには断熱材を巻くなどの対応をしてください。
● 同時給排モデルのレンジフードをお使いの場合でも、建物の気密性によって給気が必要となる場合があります。その場合は別途空気取入口を設けてください。

取り付け前の調査と準備
警告
● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッパ網など）と接触しないよう取り付け
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 取り付け前の調査と準備
● 別売部品の準備
● 標準取付寸法
● 電源コンセント・ブレーカー



付属品
座付ねじ (φ5.1×45, 6本)
吊り金具 (2個)
給気板 (1個)
取付ねじトラス (M4×10, 2本)
取付ねじ (M4×8, 8本)
天吊り金具 (2個)
給気アダプター (各1個)
ソフトテープ (2本)



取り付けかた

1. 付属品の確認
注意
● 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること
● 付属品を確認します。
● 取付作業の際は、キズ・破損のないように十分注意してください。
● 保護用のクッション材と固定テープは「6. 本体の取り付け」手順5まではずさないでください。（図1-1）

2. 給気・排気方向の決定
警告
● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造骨物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付け
● 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が40℃以上になるとは取り付けないこと

3. 本体の準備
1 吊り金具・天吊り金具を取り付けます。（図3-1）
2 吊りボルトにフランジ付き六角ナットを取り付けます。（図3-2）
4. 給気用・排気用部品の準備
5. 給気用・排気用部品の取り付けと接続
6. 本体の取り付け
7. ダクトと給気用・排気用部品の接続

4. 給気用・排気用部品の準備
1 給気口・排気口の各取付位置に取り付けている取付ねじ2本をはずします。
2 給気口・排気口を取り付けます。
3 給気口・排気口の取付位置を確認し、必要に応じて調整を行います。

5. 給気用・排気用部品の取り付けと接続
1 給気口・排気口の各取付位置に取り付けている取付ねじ2本をはずします。
2 給気口・排気口を取り付けます。
3 給気口・排気口の取付位置を確認し、必要に応じて調整を行います。

6. 本体の取り付け
1 本体を壁面に引っかけます。
2 本体を持ち上げて天吊り金具に吊りボルトを差し込みながら、ダクトに排気口・給気口を差し込み、手順1で壁面に取付けた、だるま穴用座付ねじに吊り金具を引っ掛けます。
3 フランジ付き六角ナットで天吊り金具を挟み込むように吊りボルト下側からしっかりと締め付けて固定します。
4 だるま穴用座付ねじをしっかりと締め付けます。
5 整流板をはずします。
6 スロットフィルタをはずします。
7 ランプパネルをはずします。
8 本体背面を固定します。
9 ランプパネルを取り付けます。

7. ダクトと給気用・排気用部品の接続
1 上方給気・排気の場合
2 後方給気・排気の場合
3 給気口・排気口を取り付けます。
4 給気口・排気口の各取付位置に取り付けている取付ねじ2本をはずした後、L形ダクトを給排ボックス上部の差込口に差し込みながら、給気口および排気口をダクトに挿入し、はずした取付ねじ2本で取り付けます。
5 排気口設置面の漏風確認のお願い

8. 電気配線
警告
● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流100V以外では使用しないこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● アースを確実に取り付けること
● アースを取り付けること

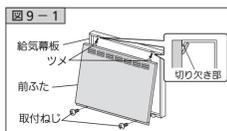
裏面に続きます

こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。  
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のご願いは表面をご覧ください。

## 取り付けかた (つづき)

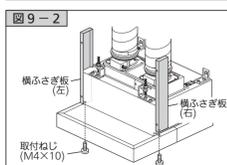
### 9. 給気幕板の取り付け

- 1** 前ふたをはずします。(図9-1)  
給気幕板と前ふたを梱包箱から取り出し、取付ねじ2本をはずして前ふたをはずします。

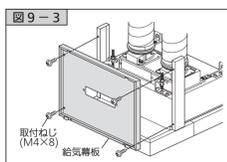


**お願い**  
給気幕板・前ふたは変形させないよう、十分ご注意ください。

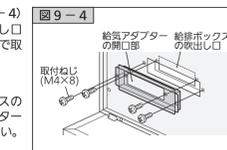
- 2** 横ふさぎ板を取り付けます。(図9-2)  
横ふさぎ板の左右に注意して、付属品の取付ねじ(M4×10)2本で製品内側から取り付けます。



- 3** 給気幕板を取り付けます。(図9-3)  
給気幕板本体を横ふさぎ板に付属品の取付ねじ(M4×8)4本で取り付けます。

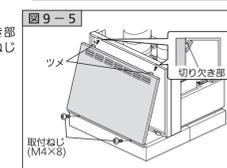


- 4** 給気アダプターを取り付けます。(図9-4)  
給気アダプターを給気ボックスの吹出し口に合わせて、取付ねじ(M4×8)4本で取り付けます。



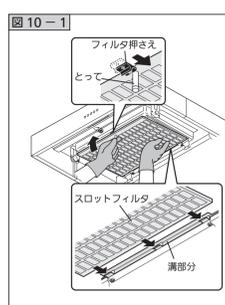
**お願い**  
給気アダプターの開口部が給排ボックスの吹出し口と合致するように、給気アダプターの向きに十分注意して取り付けてください。

- 5** 前ふたを取り付けます。(図9-5)  
前ふた上部のツメを給気幕板の切り欠き部に引っ掛け、手順1ではした取付ねじ(M4×8)2本で取り付けます。

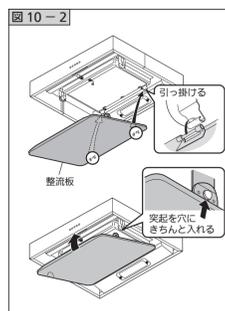


### 10. 試運転の準備

- 1** スロットフィルタを取り付けます。(図10-1)  
本体の溝部分にスロットフィルタを差し込み、固定用のフィルタ押さえを奥側にスライドさせて固定します。



- 2** 整流板を取り付けます。(図10-2)  
1) 整流板引掛け部をフードの吊り金具に引っ掛けます。



- 2) 前足をゆっくり持ち上げてパチンと音がするまで押し込みます。

- 3) 整流板を軽く上下に動かしてみても確実に取り付けられたことを確認します。

**お願い**

整流板の固定は確実におこなってください。ロックが不十分ですと整流板の落下の原因になりますので、取り付け後、再確認してください。

### 11. 試運転

#### 注意



接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないことがをずるおそれがあります



- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

### 12. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

〔製造元〕 **-FUJIOH-** 富士工業株式会社  
本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号  
TEL 042(768)3754 (営業部)